

F-ACTをつくる会研修会

## 『福島で、あなたが、ACTを創るなら』

◆日時 平成28年 1月30日 (土)

◆会場 コラッセふくしま

◆趣旨 精神障がいを持つ人が地域で生活するための訪問による支援サービスを、福島県で充実させることを願い、「つばさ会」や「ひびきの会」の会員および精神科医療保健福祉に携わっている者が集まり、F-ACTをつくる会が立ち上がりました。

より多くの方に、ACTやアウトリーチ等の訪問型の精神障がい当事者及び家族への支援のあり方について、知ってもらい、協力者を募り、福島の地で、福島のニーズに即した、精神医療・保健・福祉の仕組みを創造していく機会として、研修会を開催いたします。

### ■日程・内容

13:00 研修会受付開始

13:30 開会・挨拶・オリエンテーション

13:40 F-ACTをつくる会の目的と活動について

14:00～17:00 研修会

・「地域を耕す家族会活動」 講師：さいたま市もくせい家族会 岡田久実子 氏

埼玉県精神障害者家族会連合会副会長であり、さいたま市において、家族による家族支援等、実践的な地域での支援活動を続けておられます。

・「ACTさいたまのストレングスアセスメント～現在・過去・未来～」

講師：ACTさいたま 看護師 吉澤美樹 氏

ACTさいたまの実践に加えて、ACT埼玉の立ち上げや、さいたま市メンタルヘルスネットワークの活動などもご紹介いただきます。

17:00 閉会挨拶・終了

### ■申し込みについて

◆参加費 1,000円

◆申込定員 100名程度見込

◆申込期限 平成28年1月16日(日) 必着

◆申込方法 下記申し込み先へ裏面申込用紙を **FAX** または **E-mail** にてお申し込み下さい。



◆申込先 福島県立矢吹病院 訪問看護室 濱尾早苗 (F-ACTをつくる会事務局)

FAX: 0248-44-2551

E-mail: hamao\_sanae\_01@pref.fukushima.lg.jp

※E-mailによる申し込みの際は、

お手数ですが①氏名②職種等③住所④Telをご記載下さい。

※NPO法人地域精神保健福祉機構・コンボ 共催 / 日本財団助成事業

『福島で、あなたが、ACTを創るなら』  
研修会申し込み用紙

氏名	職種等 ○を付けてください	住所、Tel、E-mail 等
	当事者 家族 事業所 福祉職 医療職 行政職 その他 (            )	住所 : _____ Tel : _____ E-mail アドレス : _____
	当事者 家族 事業所 福祉職 医療職 行政職 その他 (            )	住所 : _____ Tel : _____ E-mail アドレス : _____
	当事者 家族 事業所 福祉職 医療職 行政職 その他 (            )	住所 : _____ Tel : _____ E-mail アドレス : _____
	当事者 家族 事業所 福祉職 医療職 行政職 その他 (            )	住所 : _____ Tel : _____ E-mail アドレス : _____
	当事者 家族 事業所 福祉職 医療職 行政職 その他 (            )	住所 : _____ Tel : _____ E-mail アドレス : _____

◆申込先

福島県立矢吹病院 訪問看護室 濱尾早苗 (F-ACTをつくる会事務局)

**FAX : 0248-44-2551**

**E-mail : hamao\_sanae\_01@pref.fukushima.lg.jp**

※E-mailによる申し込みの際は①氏名②職種等③住所④Telをご記載下さい。

**※申込期限：平成28年1月16日(日) 必着**

問い合わせ先：福島県立矢吹病院訪問看護室 濱尾早苗 (F-ACTをつくる会事務局)

〒969-0284 西白河郡矢吹町滝八幡 100 Tel : 0248-42-3111/Fax : 0248-44-2551

平成27年11月16日

## 研修会のご案内

私たち「FACTをつくる会」は、精神障がいを持つ人が地域で生活するための訪問による支援サービスを、福島県で充実させることを願い、県内の家族会、医療機関、福祉サービス事業者等、精神科医療保健福祉に携わっている者が集まって創設した会です。

FACTというのは、Fukushima ACTの略です。ACT (Assertive Community Treatment) というのは日本語では「包括型地域生活支援プログラム」と言われるもので、さまざまな職種で構成された多職種チームによる密度の濃い支援を、地域社会のなかに訪問（アウトリーチ）することで行うプログラムです。

「FACTをつくる会」は、将来、福島県においても「包括型地域生活支援プログラム」を行う団体をつくっていくことを目指しながら、当面は精神障がいを抱える当事者やご家族に充実した訪問看護や訪問相談をおこなう団体を設立したいと望んでいます。

充実した訪問サービスを、精神疾患を患い闘っている当事者や家族に届けるためには何が必要かを、福島の実情に即して考え、より具体的で実践的な訪問による支援サービスの形を、多くの方々と共に創っていきたいと考えております。

来る平成27年1月30日（土）、コラッセふくしまを会場に、『福島であなたがACTを創るなら』と題して、学びの場を企画いたしました。さいたま市における、家族会による主体的な訪問支援活動の実践やACTさいたまの具体的な活動をご紹介していただきながら、福島の地で、アウトリーチ型の支援活動を実践していくための議論を深める機会になるよう期待しております。是非ご参加いただき、共に学び、活動してまいりましょう。

「FACTをつくる会」

会長 相澤與一

副会長 丹羽真一、大川貴子